

学校法人旭川大学  
旭川大学短期大学部  
機関別評価結果

平成 27 年 3 月 12 日  
一般財団法人短期大学基準協会

## 旭川大学短期大学部の概要

設置者	学校法人 旭川大学
理事長	山内 亮史
学 長	山内 亮史
A L O	藤原 潤一
開設年月日	昭和 39 年 4 月 1 日
所在地	北海道旭川市永山 3 条 23 丁目 1 番 9 号

### 設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
生活学科	生活福祉専攻	50
生活学科	食物栄養専攻	50
幼児教育学科		100
	合計	200

### 専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	福祉専攻	35
	合計	35

### 通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

## 機関別評価結果

旭川大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 27 年 3 月 12 日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成 25 年 7 月 24 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて改善に努めており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学はその前身である「旭川裁縫専門学校」創始者の澤井兵次郎氏の意を継いで「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた大学」を建学の精神に掲げ、昭和 39 年に設立された。平成 23 年より、半世紀近く続いた女子短期大学から男女共学の地域に根ざした高等教育機関として生まれ変わった。生活学科生活福祉専攻、生活学科食物栄養専攻、幼児教育学科において、各種資格・免許を取得した地域社会に有為な人材を送り出し続けており、地域の大学としての社会的使命を果たしている。

教育目標は、「1) 現代社会における人間生活の再生産の基本的仕組みを科学的に理解しうる社会人の育成 2) 教育、福祉、食生活文化を通して地域社会に貢献する職業人の育成 3) 21 世紀の世界を生きるにふさわしいグローバルな視野と人間性を有する市民の育成」として明確に表明されている。

教育目的・目標は教授会で点検し、教職員に通知し、学習成果は定められている。教職員は「自己評価委員会」を中心に、自己点検・評価活動を適切に実施し、FD、SD 等をとおし、各部署で協力して PDCA サイクルで改善を図り、平成 20 年度の第三者評価における「向上・充実のための課題」への対応を誠実に行うなど、積極的に活動している。なお、評価の過程で、自己点検・評価活動の報告が学内にとどまり、学外に公表されていないという早急に改善を要する事項が認められたが、その後、機関別評価結果の判定までに改善されたことを確認した。今後は当該短期大学の継続的な教育の質保証とともに、その向上・充実を図るためにも適切な自己点検・評価活動が求められる。

学位授与の方針はシラバスやウェブサイトに掲載し、広く公開している。教育課程は、教育課程編成・実施の方針に沿って編成され、学位授与の方針に対応している。入学者受け入れの方針は、入学案内及びウェブサイトに明示している。

基礎学力不足の入学生対策として、「プレ・カレッジプログラム」の導入によりスムーズに短期大学の学習に適應できるようにするとともに、入学時から卒業時まで少人数ゼミナール制を活用し、各ゼミ担当教員が学習のみならず生活指導も含めて、きめ

細かく指導しており、中途退学者の減少や防止等に効果を上げている。

学生生活への支援に関しては、併設大学と共用の図書館、食堂、喫茶室、パソコン設置の「Chat Square チャットスクエア」（学生談話スペース）、体育館、テニスコート、トレーニングセンター（屋内練習場）、全面天然芝の広いグラウンド、駐車場等の施設設備は充実している。経済支援として独自の特待生制度（授業料等全額免除、授業料等半額免除の２種類）も有している。

専任教員数及び教育・研究実績は、短期大学設置基準を満たしている。校地面積、校舎面積とも短期大学設置基準を満たしている。施設設備、物品管理等は各規程に従って適切に維持管理されている。講義室、実習室に AV 機器が完備されており、学内約 100 か所に無線 LAN アンテナが整備されている。

資産及び資金の運用は適切に管理されており、財務情報については適切に公開されている。

理事長は建学の精神に基づき、学校法人の健全経営を維持すべくリーダーシップを発揮して運営を遂行している。理事会は私立学校法にのっとり適正に運営されている。学長は理事長が兼務しており、それぞれの立場に立ち課題を確認し、迅速な意思決定が行われている。学長は毎月の教授会で現状と課題を正確に伝え、教職員が共通理解を持って教学運営がなされている。毎回の議事録は次回に承認され保存されている。監事は寄附行為に基づき選任され、業務及び財産の状況については公認会計士と連携を取って監査報告書を作成し、理事会及び評議員会に提出し意見を述べている。評議員会は寄附行為に基づき組織され、理事長の諮問機関として適切に運営が行われている。

学校法人及び当該短期大学の中期事業計画は策定され、学校法人の方針が周知されていることにより、次年度事業計画の策定・予算の編成方針が決定されている。当該短期大学の予算に関する規程は整備され、予算執行は共有化され、適切に管理されている。

## 2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

### （1）特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

## 基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ A 教育課程]

○ 入学時オリエンテーションから建学の精神、教育目標を周知するためのプログラ

ムを組んでいる。また、地域・環境・ジェンダー等の今日的で普遍的な諸問題を学ぶことのできる教養科目群を設け、理事長・学長を先頭に地域に根ざした教育に取り組んでいる。

### 基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源]

- 協同的な学びを促進するアクティブラーニング教室を整備し、双方向の授業を可能としている。また、ラーニングコモンズ教室を整備し文献収集及びインターネット検索のツールを駆使して学生の自律的な学習を可能としている。

### (2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

### 基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ B 教育の効果]

- 学科の学習成果は定められているが、シラバスに明確に記載するなど学生への周知について工夫が必要である。

### (3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

### 基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ C 自己点検・評価]

- 評価の過程で、自己点検・評価活動の報告が学内にとどまり、学外に公表されていないという問題が認められた。

当該問題については、機関別評価結果の判定までに対処し、改善に努めていることを確認した。今後は法令順守の下、適切な自己点検・評価を行うとともにその結果を公表し、継続的な教育の質保証により一層取り組まれたい。

### 3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

#### 各基準の評価

##### 基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

当該短期大学はその前身である「旭川裁縫専門学校」創始者の澤井兵次郎氏の意を継いで「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた大学」を建学の精神に掲げ、昭和39年に設立された。平成23年より、半世紀近く続いた女子短期大学から男女共学の地域に根ざした高等教育機関として生まれ変わった。生活学科生活福祉専攻、生活学科食物栄養専攻、幼児教育学科において、各種資格・免許を取得した地域社会に有為な人材を送り出し続けており、地域の大学としての社会的使命を果たしている。

教育目標は、「1) 現代社会における人間生活の再生産の基本的仕組みを科学的に理解しうる社会人の育成 2) 教育、福祉、食生活文化を通して地域社会に貢献する職業人の育成 3) 21世紀の世界を生きるにふさわしいグローバルな視野と人間性を有する市民の育成」として明確に表明されている。

教育目的・目標は教授会で点検し、教職員に通知し、学習成果は定められているが、学生への周知方法に工夫が必要である。

学習成果は、短期大学生としての幅広い一般教養と各学科の歴史的背景の理解のみならず、特にジェンダー問題や地域に密着したアイヌの歴史や食習慣等の知識を深めるとともに、生活学科生活福祉専攻では介護福祉士資格、生活学科食物栄養専攻では栄養士資格、幼児教育学科では幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格と、最終的にはいずれも専門的な国家資格等の取得と、資格を生かした就職を目標としており、各専門分野での高い資格取得率から教育の質は保証され、さらに近隣地域への高い就職率からも地域社会の発展に大きく寄与している。

自己点検・評価活動については、授業満足度調査、授業評価に関するFD研修の組織化、研究紀要への発表の増加奨励、図書館のIT環境整備、指定校推薦卒の見直し、教員の教育・研究活動成果の公表など一定の成果をあげている。なお、自己点検・評価活動の報告が学内にとどまり、学外に公表されていなかった点については、その後、機関別評価結果の判定までに対処し、点検・評価活動及びその公表方法の改善に努めていることを確認した。

##### 基準Ⅱ 教育課程と学生支援

当該短期大学の各学科・専攻課程に共通する学位授与の方針、卒業要件、資格取得要件を定めるとともに、ウェブサイトやシラバスに明確に示している。

学科・専攻課程の教育課程は「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた大学」という建学の精神を基にして、その教育課程を学科・専攻課程の特性に応じた資格取得が可能となるよう体系的に編成されている。これらは全て分かりやすくシラバスに記載されている。さらに、シラバスには教科の到達目標、授業内容、準備学習、授業時間数、成績評価の方法と基準、教科書及び参考書も記載されており、学生の学習に役立つ内容となっている。教員は資格・業績を基に配置されている。これら教育課程については定期的に見直しが行なわれる体制が整っている。

入学者受け入れの方針は、学科・専攻課程別に入学試験要項及びウェブサイト等に明確に示されている。短期大学教職員による高等学校訪問時に進路指導担当教員に対して入学者受け入れの方針を説明し、該当する生徒に進学を勧めてもらえるよう依頼している。また、オープンキャンパスに来場した生徒に対して入学者受け入れの方針を詳しく説明し、理解を求めている。

学科・専攻課程の教育課程の学習成果は、それぞれの領域で地域を支える専門職として結実しており、介護福祉士、栄養士、幼稚園教諭、保育士のいずれにおいても高い取得率を示している。また、資格を生かした専門職就職率も高率で推移している。

教員は、学習成果の獲得に向けてFD活動を行っている。また、学科ごとの宿泊研修や少人数ゼミナール制により、動機付けから実践力の向上まで手厚い学習支援が行われている。

大学祭や体育大会、クラブ活動等について適切な支援が行われており、また、様々な種類の奨学金をはじめ、一人暮らしの学生へのサポートも備えられている。

キャリア・サポートルームを設置し、就職試験の対策講座を開くなどの就職支援が行われており、また、就職先との信頼関係を築いて、職業教育や就職支援の在り方等について率直な評価とアドバイスを得ている。

### 基準Ⅲ 教育資源と財的資源

専任教員数及び教育・研究実績は、短期大学設置基準を充足しており、非常勤、補助教員も教育課程編成・実施の方針に基づいて配置されている。

教育研究活動では、個人研究費に加え学会発表のための特別出張旅費や教育研究活動助成制度を設け、その成果は研究紀要に公表されている。

事務処理システムの構築やネットワーク情報の共有も適切に行われており、教職員の就業については、出退勤管理システムや届け出書等で適正に管理されている。

校地面積、校舎面積等は短期大学設置基準を充足しており、教室等も適正である。また、当該短期大学は大学を併設しており、機器備品、体育館、図書館及び蔵書等も十分に整備され、食堂、喫茶室、パソコン設置の「Chat Square チャットスクエア」（学生談話スペース）、テニスコート、トレーニングセンター（屋内練習場）、全面天然芝の広いグラウンド、駐車場等の施設設備は充実しており、有効に活用されている。

固定資産等に関する規程は整備されており、火災、地震、防犯に関しては施設等管

理規程を定めている。また、火災避難訓練の全学的な実施やコンピュータのセキュリティ対策、照明設備の LED 化等、省エネルギー対策も行われ、物的資源は適切に整備され活用されている。耐震対策については平成 27 年度から着手する計画がある。

ハードウェア、ソフトウェア共に十分整備されており、アクティブラーニング教室の整備により充実が図られている。また、学習支援のための有線 LAN に加え無線 LAN 環境の整備や、自律的な学習を支援するラーニングコモンズ教室の整備等、教育資源も充実している。

施設設備の将来計画については、併設の大学と共用する建物もあるため、学校法人全体の財政と今後必要な修繕費用とを考え、適切な計画を立案し、実行するごとに見直しを行っている。この見直しにより、次年度以降の必要経費も適正に予算編成することができる状態を維持している。

教育研究経費比率も適正であり、財政規模を勘案し、人件費比率も適正である。退職給与引当金も目的どおりに引き当てている。

過去 3 か年における消費収支の推移は改善されており、収容定員充足率は改善傾向にあるが、一部の専攻課程ではいまだ低い水準である。この課題に対して社会環境の変化等を把握し、解決策立案に取り組んでいる。

#### 基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は建学の精神に基づき、学校法人の健全経営を維持すべくリーダーシップを発揮し運営を遂行している。理事は私立学校法に基づき選任されており、理事会は理事長が招集し、議長を務め、当該短期大学発展のため社会からの要請を共有し、具現化するための方策を立案している。第三者評価に対しても、理事長が先頭に立ち責任を果たしている。

学長は理事長が兼務しており、それぞれの立場に立ち課題を確認し、迅速な意思決定が行われている。学長は教授会を学則に基づき開催し、現状と課題を正確に伝え、教職員が共通理解を持って教学運営がなされ、教育研究の課題に対しての審議を適正に行っている。

監事は寄附行為に基づき選任され、業務及び財産の状況について公認会計士とも連携を取って監査報告書を作成し、当該会計年度終了後2か月以内に理事会及び評議員会に提出し意見を述べている。

評議員会は寄附行為に基づき適切な人選を行い組織され、予算・決算等及び教育研究事業に対して意見を述べ、適正に運営が行われている。

併設大学と共有する施設があることから、施設設備の更新計画は、学校法人全体の財政と教育研究環境の適切な維持を勘案した中期事業計画を策定し、学校法人の方針が周知されている。この方針を踏まえて、次年度事業計画の策定・予算の編成方針が決定されている。

資産及び資金の運用も適切に行われている。日々の出納業務及び月次の計算書類についても、経理責任者より理事長に報告がなされている。

教育情報及び財務情報についてウェブサイトから容易に検索することができ、適切

に公開されている。

## 選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは 4 基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4 基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

## 教養教育の取り組みについて

### 総評

当該短期大学の教育目標の一つである、「現代社会における人間生活の再生産の基礎的仕組みを科学的に理解しうる社会人の育成」の達成に向け、各専門の基礎となる分野と幅広い教養の習得を目的とし、全学生が興味と関心を持って主体的に学べ、今日的課題に対する若者らしい想像力を喚起するような学際的な新しい科目を設定し、変化し続ける多様化した社会の中で、物事を重層的にとらえ対処できる能力を養い、21 世紀を生きる人間としての教養知の幅を広げることができるよう、ステレオタイプ化した基礎科目群を平成 18 年度に抜本的に再編した。

複数の学科・専攻課程を持つ当該短期大学では、建学の精神や教育目標に基づいて、独自性や際立った特徴を持ち、学科・専攻課程の枠と壁を越えた、全学的で包括的な共通基礎科目を設定することが重要と考え、2 種類の教養科目群を設置している。

免許等取得のための必修科目である法学や世界へのパスポートとして不可欠の英語等の既存の科目群と、人権・平和・ジェンダー・環境・地域・格差等の今日的で普遍的な諸問題を学ぶことができる、新しい学際的な科目群とに具現化した。

### 当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 新しい学際的な教養科目群として「女性学」（ジェンダーって、何？）、「異文化理解と多様な世界」（70 億人の世界を知ろう）、「消費生活と経済」（衣・食・住、暮らしの科学）、「食と健康」（ファストフードとスローフードのはざままで）、「少子高齢化と諸問題」（私の人生設計の基礎理解）、「北海道学」（地域社会としての北海道、その歴史・自然・産業・文化）が開講されており、当該短期大学の専任教員のみならず同じキャンパス内にある併設大学の経済学部や保健福祉学部の教員、また学外からも各分野のスペシャリストが参画して、オムニバス形式で授業を行っている。

## 職業教育の取り組みについて

## 総評

職業教育（キャリア支援教育）の取り組みは、直接、学生の相談指導にあたる学科・専攻課程のゼミナール担当教員を中心にして、就職委員会、大学事務局の担当課であるキャリア支援課等がそれぞれの立場から、相互に連携し、連続的で重層的に取り組むことができるように、それぞれの役割・機能・分担を明確にして、きめ細かな学生指導・支援に努めている。

実際に、入学から卒業に至るまでキャリア形成に関するガイダンスを行っている。年間をとおして、就職を希望する全学生を対象とした就職セミナー、就職試験対策講座、合同企業説明会、キャリアカウンセラー等の外部講師による就職ガイダンス、卒業生就職体験セミナー等によるキャリア形成指導等、継続的・重層的に職業教育に関する指導・支援を行っている。

短期大学は、在学期間が2年間という短い期間であることから、キャリア支援教育に様々な困難が認められる中で、ゼミナール担当教員による学生の就職意識の醸成や就職情報の提供等が日常的に取り組まれている。

これらの結果として、高い専門職就職率及び地元就職率となっており、地域にも貢献している。

## 当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 卒業生就業状況調査の実施や企業情報・求人情報・就職活動関連資料の整備を進めるとともに、閲覧公開を簡便化している。就職情報の提供は、キャリア・サポートルーム、就職掲示板に加えて、携帯電話へのメール通信による求人情報の提供等の新たな取り組みも始めている。
- 社会人経験者の入学希望者に対しても、社会人入学試験制度を設けて大きくその門戸を開いている。

## 地域貢献の取り組みについて

### 総評

建学の精神にある「地域に開かれた大学」の事業の一環として、また、教育目標中の「教育、福祉、食生活文化を通して地域社会に貢献する職業人の育成」、「21世紀の世界を生きるにふさわしいグローバルな視野と人間性を有する市民の育成」に沿って、地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放、リカレント講座、高校生と生涯学習のための出張講義、高校生のための集中授業等を併設大学と合同で実施している。

地域社会の行政、商工業、教育機関及び文化団体等と交流活動も活発で地域からの信頼も厚く、併設大学と合同で旭川地区を中心にした地域の活性化に大きく貢献しており、平成25年度の活動は以下のとおりである。

- オホーツクお魚料理講習（北見地区漁業協同組合ほか／生活学科食物栄養専攻）
- 「KOTOchan お惣菜店」の開店（永山地区／生活学科食物栄養専攻）

- 「カムイの杜公園」におけるプレイパーク（旭川市教育委員会及び市民団体／幼児教育学科）
- 音楽運動療法及び参加型イベント実施（自閉症等の障がい児ほか／幼児教育学科 五十嵐路子教授）
- スウィーツ共同開発（ロワジールホテル旭川／生活学科食物栄養専攻）
- 旭川生まれの記念品「永山ノ御進物」選定（旭川市・永山ふるさと推進協議会／生活学科食物栄養専攻 森重正也教授）
- 旭川に生のクリスマスツリーを広める「木の町あさひかわ 木育を進める会」（会長 森重正也教授）
- ジュンク堂書店旭川店との連携事業（旭川大学・旭川大学短期大学部合同）
- にこにこランチ（永山むつみ町内会／生活学科）

教職員及び学生の地域ボランティア活動は大変活発に行われており、地域に貢献している。平成 25 年度の活動は以下のとおりである。

- カムイの杜公園 冬のイベント（主催：旭川市公園緑地協会）
- 東神楽町発達支援センター「おひさま」のクリスマス会に参加し、演劇やプレゼントを渡すなど子どもたちと交流
- 東川町小学校との連携食育授業（東川小学校 5 年生を対象に「お米の炊き方とお味噌汁の作り方」を実習指導）
- 永山東小学校の各学年に食育活動（地域栄養食材研究会）
- 永山中央公園におけるサマーキャンドル及びスノーキャンドル活動

#### 当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 「旭川大学生涯学習エクステンションカレッジ事業」（Asahikawa University Extension college of Lifelong-learning for Local Citizen）略して AEL（あえる）と名付け、平成 16 年から毎年併設大学と合同で、市民対象の生涯学習講座を各地で開催している。
- 生活学科食物栄養専攻の卒業生を対象に管理栄養士国家試験対策講座を平成 11 年度から毎年開催している。
- 併設大学とともに平成 16 年度から、各専任教員の専門分野から身近なテーマを選び出し、学校や公民館等で市民に向けて出張講義を行っている。
- 平成 16 年度から併設大学と合同の「高大連携推進事業」における高等学校の総合学習支援として、集中授業を夏期と冬期の休業中を利用して開催している。
- 幼児教育学科の学生によるオペレッタ研究会が、平成 22 年度から幼稚園・保育所関係者、高校生、卒業生はじめ一般市民を対象に旭川市民文化会館でオペレッタを上演している。